

■高橋泥舟 幕臣，槍術家，歌人。幕末三舟。徳川慶喜に恭順説き終始警護。廃藩置県後は仕官せず隠棲し筆耕。

たかはしでいしゅう
滑稽+人情本 1835＝ 山岡正業の次男に生まれ，高橋包承の養子となる。

大塩平八郎乱1837＝ 2歳：

天保改革終・1844＝ 9歳：

阿部正弘首座1845＝10歳：

外祖父高橋包実忍に忍心流管槍を学び，また実兄山岡静山について修業。

ペリー来航・1853＝18歳：

松下村塾・・1856＝21歳：*幕府講武所槍術教授となって，自得院流を称し，

桜田門外変・1860＝25歳：_同師範。

生麦事件・・1862＝27歳：

8月18日政変 1863＝28歳：_徳川家茂より浪士取扱を命ぜられ，勅許を奉じて従五位下・伊勢守に叙任，作事奉行上席格となる。帰府後，当時の情勢を憂い幕府存亡の危機を説いたが，危険分子とみなされ閉門となる。

薩長同盟・・1866＝31歳：*講武所槍術師範に復帰し，遊撃・精鋭隊の総督となる。

明治維新・・1868＝33歳：_鳥羽伏見の戦後，謹慎した徳川慶喜を警固するとともに，山岡鉄舟の駿府派遣の提案をして局面打開に苦心した。徳川家静岡移住に従い，地方奉行に任じられ8万石・士族千2百戸を管轄した。

廃藩置県・・1871＝36歳：*廃藩置県後，東京に隠棲して仕官に応ぜず，著述に勤しむ。

明治6年政変 1873＝38歳：

詩歌にも堪能であった。

・・・・・1880＝45歳：

明治14年政変1881＝46歳：

帝国憲法発布1889＝54歳：

日清戦争始・1894＝59歳：

政党内閣初・1898＝63歳：

日比谷公園・1903＝68歳：

没した。
「銃術問答」「砲術見聞録」「砲術秘伝書」「遊撃隊記録」「楽水楼文草」。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，